

● 4th AP-UHMS 学会レポート

2019年10月25日から26日、大分県中津市において「The 4th conference Asia-Pacific Undersea & Hyperbaric Medical Society in Nakatsu-City」が開催されました。2年に1度開催されるアジアにおける高気圧酸素治療の学会です。本年度は医療法人玄真堂 川島整形外科病院 理事長 川島真人先生が会長を務められ、アジア諸国だけでなく、UHMSのエグゼクティブディレクターを含むスウェーデンとアメリカからゲストスピーカーが招かれました。UHMS エグゼクティブディレクターの John Peters 先生は UHMS の継続的な取り組みと今後の展望を、Sweden カロリンスカ大学の Folke Lind 先生は脳脊髄神経外科感染に対する HBO の有効性をご講義いただきました。日本から日本臨床高気圧環境・潜水医学会から防衛医科大学の四ノ宮成祥先生が大深度潜水における高圧ストレスの分子メカニズムについて、また、本学会からは柳下和慶先生がスポーツ領域における HBO についてご講義いただきました。学会では韓国、台湾、中国、インド、アルゼンチンにおける各国の HBO の施行状況やその背景にある医療の現状の報告もあり、お互いの状況をリスペクトしながらの活発な議論が展開されました。文字通り多国籍の学会の象徴的なシーンとして、中津の温泉に浸かり、地元の食材に舌鼓を打ちながらの懇親会は大変盛り上がり、各国の HBO 関係者が交流を深めることができました。次回の第5回学会は2021年に台北で開催予定です。